

平成 28 年 12 月 5 日

各 位

会社名 インспек株式会社
代表者名 代表取締役社長 菅原 雅史
(コード番号：6656 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理本部長 富岡 喜栄子
TEL 0187-54-1888 (代表)

人工知能 (AI) 技術を用いた病理診断支援ツール開発への取り組みについてのお知らせ

当社は、人工知能 (AI) 技術を用いた病理診断支援ツールの開発への取り組みを開始いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本開発の取り組み開始の理由

この度、東京大学大学院医学系研究科の佐々木毅准教授が申請しておりました、平成 28 年度厚生労働科学研究費補助金（政策科学総合研究事業（臨床研究等 ICT 基盤構築研究事業）（研究課題名：病理デジタル画像・人工知能技術を用いた、病理画像認識による術中迅速・ダブルチェック・希少がん等病理診断支援ツールの開発）が採択となりました。

これにより、当社はメタデータ株式会社（東京都文京区：野村直之社長）と共に本プロジェクトのメンバーとして AI による病理診断支援ツールの開発に取り組むことになりました。

病理診断のための検体のデジタル画像は、標準的に用いられる対物レンズ 20 倍で約 9 億画素、対物レンズ 40 倍で約 36 億画素という巨大画像であることから、当社は、精密基板検査システム事業で培ってきた高解像度画像処理技術を活かし、AI システムで最適な処理をするための画像生成に取り組めます。また、佐々木毅准教授の指導のもとで、東京大学医学部附属病院が保有する病理デジタル画像のビッグデータを活用し、当社グループ在籍の病理専門医及び機械学習担当のメタデータ社と連携して、ディープラーニングの学習用データの作成に取り組む、高精度な AI システムの構築に取り組めます。

本開発により、日本国内の深刻な病理専門医の不足問題や、一部の専門医以外では判別が難しい希少がんなどの診断支援など、病理検査分野の課題解決の一助となるよう取り組んでまいります。

2. 今後の見通し

本開発への取り組み開始による当期の連結業績に与える影響は現在精査中であり、判明次第速やかに公表する予定です。

以上